令和３年度　第３回港南区協働による地域づくり推進協議会　開催報告

日　時	令和３年 12 月 13 日（月）午前 10 時から正午まで
場　所	港南区役所６階　603号会議室
出席者	藤田会長、杉山副会長、若林委員、石川（正二）委員、小室委員、穂永委員、石川（彰子）委員、小舘委員、塩田委員、守分委員、本間委員、稲村委員、須田委員、栗原委員
議　題	１．第２回協議会において示された共通課題（担い手不足・コロナ禍での活動）についての意見交換 ２．その他

【協働による地域づくり推進協議会の概要】
　区内の地域活動者や団体が、自治会町内会など身近な地域の中で連携できる関係を築き、地域での活動をより一層進めていくために、区内で活動する各団体の代表者と区役所が一緒に話し合い、情報を交換する場として、平成 26 年度から設置しています。

港南区連合町内会長連絡協議会　（藤田誠治　会長：芹が谷）

　自治会町内会において、担い手不足等は共通の課題ですが、発生しやすいのは会長が１年交代の自治会です。会長交代の際は、新たに会長になった人がやりやすいよう、前会長が１年ほどフォローをするなど、自治会町内会でも協力する姿勢を持つことが大切です。また、若い世代の担い手を確保するために、会議等の時間を休日にするなど、働く世代の方も参加しやすくなるような工夫をする必要があります。

港南区民生委員児童委員協議会　（杉山静枝　会長：日野南）

　民生委員の方には、やりがいを感じてもらいたいと思います。訪問の際に感謝されることもやりがいです。また、担い手の確保のためにも自らの活動を各団体と紹介し合うことも大事です。長生きされる方も多い今、年配の方も元気に動けるのであれば担い手として活動してもらい、若い世代を育成してほしいと思います。そうすることで、若い世代も一緒になって活動できるまちになれたらいいと思います。

港南区地区社会福祉協議会分科会　（若林諭　会長：永谷）

　次の担い手を探す際、「大変だった」、「難しかった」とマイナス部分を中心に伝えていたら担い手は出てきません。「自分にもできた」、「楽しかった」と伝えて次につなぐことが大切です。また、自治会町内会や委嘱委員について、各団体の必要性や役割を知ってもらう必要があります。次世代のリーダーを育てることが趣旨の学び舎ひまわりや、セカンドライフ大学校は成果が出ていて人材育成になっているので、その成果やノウハウを共有することも大事です。

港南区保健活動推進員会　（石川正二　会長：ひぎり）

定例会では、メンバーの状況に合わせて、最大公約数で参加できる時間帯を選ぶ等工夫しています。現状に合わせて基本的なことは変えずに柔軟に対応することが必要です。そして、活動するメンバーが愚痴らないことが大切です。常に楽しくやっていることを地域の方に見せることが後継者の育成、担い手の確保につながると思います。

港南区スポーツ推進委員連絡協議会　（小室俊博　会長：日野第一）

事業の再開時にスムーズに活動できるよう、研修会を通して運営等を学びなおしています。私が活動を始めたころを思い返すと、初めは名前だけ在籍しているという体でしたが、イベントを運営して楽しかったと言われることで、やる気が高まりました。このような自身の経験を踏まえ、まずは顔を出すということから始めてもらいたいと思います。

港南区青少年指導員協議会　（穂永進　会長：日野第一）

担い手については、自らも探すことが１番大事だと思います。様々な場所に顔を出して、仲間を作るというのがスムーズなやり方ではないでしょうか。実施する事業は、大きなイベント中心ではなく、各地域、町内会単位での活動とのバランスが大切です。従事者が負担を感じず楽しくできるように、また、誰でも参加でき、関わりが持てるようにしていきたいと思います。

港南区消費生活推進員の会　（石川彰子　会長：港南台）

消費生活推進員は、２年の任期ですが、１年で辞めてしまう人もいます。委嘱委員は各地区の会長から委嘱されているので、連携をしていく必要がありますが、会長が委嘱委員を探すのは大変です。だからこそ、会長に各種団体のことを PR して理解してもらいたいと考えています。また、次に交代する人に自ら声をかけていく必要もあります。

港南区環境事業推進委員連絡協議会　（小舘とく子　会長：永野）

私の町内会では、コロナ禍で事業ができませんでしたが、先日行った防災訓練では役員だけが集まり、３箇所に分かれて実施するなど工夫をしました。担い手については、若い人にお手伝いなどをお願いする青年部をつくり、募集をしました。現在は 20 名ほどおり、青年部が中心になって大変な仕事もやってもらっています。町内会のことが色々分かり楽しいという声もあがっています。

港南区シルバークラブ連合会　（塩田良英 会長：野庭団地）

横浜市老人クラブ連合会では、10月に、「新規加入促進」、「解散・退会防止」に向けた活性化プロジェクトを発足しました。担い手確保を含めた成功例を話し合い、その中から地域に合った事例を持ち帰り解決を図ろうとするプロジェクトです。担い手が常に前向きに物事を発想し、やりがいを見つけることで活性化を図ろうとしています。港南区においても、18区のよい事例を活かし新しい取り組みを見出してまいります。

港南区食生活等改善推進員会　（守分光代　会長：永野）

担い手不足は大変な問題です。自分が役に立たないと思われないように、元気に外に出ることもすごく大事だということを、会員に伝えながら活動しています。現在は、自らの意思で養成講座を受けて会員になるという形ですが、区民の健康に対する啓発をするためにも、自治会町内会からの推薦があれば、その地域での活動もやりやすいのではないかと考えています。

港南区商店街連合会　（本間泰輔　会長）

港南区商店街連合会として行っていることは、仲間同士が顔を合わせた際には挨拶をするといった基本的な行動です。そうすることで皆が絆を持って商店街活動をできています。この絆によって、イベントが開催される際にも仲間同士が協力し合い、一枚岩になって活動しています。これからも皆で商店街をもりあげていきたいという気持ちがあるので、一生懸命頑張ります。

港南区工業会（稲村直之　会長）

コロナ禍の活動について、来年の１月に賀詞交歓会を会員だけで開催予定です。担い手不足については、今まで行事等に参加していない会員が、他の会員と話す場に出た際、楽しかったので活動を再開したという事例がありました。楽しいことがあると出てきてくれるということを踏まえて、これからも様々な企画をやっていきたいと思います。

港南保護司会　（須田次朗　会長）

現在、一生懸命若手の保護司を発掘しており、今年度は40代・50代・６０代とバランスの取れた３名を確保することができました。担い手確保のためには、保護司の役割やあるべき姿を理解してもらう必要があります。何かやってみたい等あれば、連絡してもらえれば出来る限り迅速に対応したいと思います。保護司になる条件に難しいものはありません。健康で、対象者に寄り添って対応する心があれば大丈夫です。

港南区役所　（栗原敏也　区長）

　港南区が協働による地域づくりを進めていくためにも、この会議で担い手不足等の課題について皆さんが知恵を絞り、話していただいた各団体の取組を他の団体が参考にすることができれば、とても有意義なことになると思います。今回は皆さんからのアイデアを沢山いただけました。ありがとうございました。

当 日 の 様 子